



1 はじめに

近隣の皆様から、「南高」と親しみを込めて呼ばれている本校は、平成25年度の入学生から「進学重視型単位制」の教育課程に移行しました。「具体的にどこがどのように変わったのですか」というご質問をよく受けます。そこで本稿では、南高の「進学重視型単位制」について説明します。

2 少人数制授業の拡大

「進学重視型単位制」導入一つめのねらいは、少人数制授業の拡大です。本校では以前より、一人ひとりの生徒により目が届き、きめ細かい指導のできる少人数制授業を、なるべく多く実施できるよう、クラス編成や時間割等を工夫してきました。それを制度として大きく広げるために、「進学重視型単位制」を導入しました。1年次の「コミュニケーション英語」「数学Ⅰ」「数学A」、2・3年次の選択科目で少人数制授業を実施しています。

3 多様な選択科目の設定

二つめのねらいは、選択科目の種類・数の増加です。多様な選択科目の設定も、以前から本校の教育課程の特徴でした。それをさらに大きく拡大しました。大学等への受験対応の科目、基礎的な科目、一般教養のための科目等、生徒はいろいろな科目の中から、自分の進路や興味・関心に合った科目を選ぶことができます。「国際関係」等、特色ある科目も開講されており、生徒は授業を通じて学びを深めていくことができます。

4 55分授業の実施

「進学重視型単位制」実施に合わせて、授業1時間（1コマ）の長さを55分としました。本校では、伝統的に生徒の自主的な活動を重視しています。そのため、いわゆる「土曜授業」は実施していません。土曜日の自主的な活動の時間（自分で学習を深める時間や部活動の時間等）を確保するためです。一方、土曜日に隔週で授業を実施したのと同じだけの授業時間を、学校として生徒のためにしっかり確保したいとも考えました。55分授業の導入により、「土曜授業」を実施した場合と同様の授業時間を確保しています。

5 クラスの団結、学校行事等はそのまま！

制度としての単位制の優れた点を上手に導入し、生徒の学力向上と進路希望実現を目指すのが、本校の「進学重視型単位制」です。したがって、他の点が変わったわけではありません。南高の、明るくておおらかな、のびのびとした雰囲気は昔のままです。南高の良き伝統である、生徒の運営による様々な学校行事の実施、クラスの団結、そして約9割の生徒が加入する盛んな部活動等も、今までと変わりはありません。

6 おわりに

今までの優れた教育実践をもとに、さらに生徒の可能性を大きく広げるべく、南高は「進学重視型単位制」を導入しました。「南高生の誇り十箇条」を胸に、南高は今まで以上に前進し、伝統の先へ飛躍します。